

8月26日、布津小学校
6年の豊島明日香さん、
石橋紗弥香さん、松島凜
佳さんの3人が南三陸町
歌津の『平成の森仮設住
宅』集会所で清掃ボラン
ティア活動に取り組みま
した。



これは、市教育委員会
が実施している「実践的
防災教育総合支援事業
」の一環として、市教育
委員会、南三陸町教育
委員会、南三陸町立布
津小学校の3者が、南
三陸町歌津の『平成の
森仮設住宅』集会所で
清掃ボランティア活動
を行いました。

そのほか、津波到達点
や防災対策庁舎や土地
の嵩上げが進められて
志津川市街地などを見
学し、最後に16メー
トルの高台にあるにか
わらず1階の天井部分
まで浸水した旧戸倉中
学校を訪れました。



8月9日 祈りの日のイベントでの平和学習

復興への絆

東日本大震災災害派遣レポート Vol.29

南島原市災害派遣職員 林 田 昭 義

（文部科学省）の被災地
におけるボランティア活
動研修の一環で実施され
たもので、東日本大震災
以降、南島原市と交流が
ある南三陸町での研修が
行われました。

活動後、集会所で『平
成の森仮設住宅』の畠山
自治会長から、震災直後
の避難行動や避難所での
話を聞き、3人は熱心に
メモを取っていました。

畠山自治会長さんの
「自分の命を大切に、自
分の命は自分で守る」と
いう言葉が心に残りまし
た。もし、自分だったら
安全な場所に逃げること
ができるか不安です。



松島さん
もし、津波が来るその
場にいたら、私はどう行
動したらよいか分からな
いと思います。災害など
の非常時に備えて日ごろ
の訓練が大事と思いまし
た。

最近の気象状況を見て
も、災害は日本中どこに
いても起こる可能性があ
ります。まずは災害が起
こる前の備えと躊躇せず
安全な場所へ逃げること
が、命を守る行動として
いかに大事か今回の研修
で学び、今後に生かして
いただければと思います。

心のふるさと交流事業 in 南島原

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町の小・中学生
30人を本市へ招き、8月6日から6日間、「心のふるさと交流事業 in
南島原」を実施しました。

訪れた子どもたちは、民泊体験をはじめ、海水浴やイルカウォッチ
ングなど、南島原の魅力を満喫したほか、普賢岳災害についての災害
学習や西望公園で開催された祈りの日のイベントに参加し、平和学習
を行いました。



つなごう未来へ！島原半島世界ジオパーク

ジオパークであり 続けるための取り組み



島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540

ジオサイト⑦ ジオの恵みを育む土 ～黒ボク土～



黒ボク土（深江町）



黒ボク土が育む作物

中でも、数万年前よりも若い時代に起きた火山噴火は、普賢
岳や眉山を中心とした半島の東側に集中しているため、半島
の東側には断続的に火山灰がもたらされました。これが、半
島の東側にのみ黒ボク土が偏って形成された理由です。

やわらかい黒ボク土は、農地として耕作がしやすいため、
縄文・弥生時代から人々の暮らしに利用されてきました。有
明地区に見られる特に分厚い黒ボク土は、もしかしたら、古
くからこの地に暮らしてきた先人たちが行ってきた焼畑耕作
のおかげかもしれません。毎日食べる島原半島のおいしい野
菜は、火山噴火と長い年月、そして土の中の微生物が産み出
した土が育んだ“ジオの恵み”です。

今回は「仁田峠と紅葉」を紹介します。

島原半島ジオパーク 高校生研究発表大会

島原半島を題材とした高校生のジオパーク研究発表大会
を開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

10月26日(日) 午後1時30分～

雲仙岳災害記念館

- 主催…島原半島ジオパーク協議会
- 後援…長崎県教育委員会

雲仙80周年・ジオ5周年記念式典開催



8月23日、雲仙メモリアルホールにおいて、国立公
園「雲仙」指定80周年および島原半島世界ジオパーク
認定5周年記念式典が開催されました。式典では、国立
公園と世界ジオパークを後世に引き継ぐ責務があること、
さらにキリスト教関連遺産の世界遺産登録を推進するな
ど、新たな魅力づくりを島原半島全域で推進することが
確認されました。また、会場では、参加者に本市特産の
「島原手延そうめん」が振る舞われました。

